

## おしめ乾燥処理実績

令和6年4月～令和7年3月

		焼却量(t)	おしめ処理 前(kg)	おしめ処理 後(kg)	利用した熱 量(MJ)	計画・目標値 (MJ)	達成率(%)
令和6年	4月	367	3,450	720	6,162	8,000	77.00%
	5月	242	2,420	730	3,814	8,000	47.70%
	6月	401	2,200	720	3,340	8,000	41.80%
	7月	89	2,590	740	4,175	8,000	52.20%
	8月	316	3,770	840	6,613	8,000	82.70%
	9月	287	2,670	740	4,356	8,000	54.50%
	10月	278	4,380	950	7,742	8,000	96.80%
	11月	393	3,220	760	5,552	8,000	69.40%
	12月	286	2,620	630	4,491	8,000	56.10%
令和7年	1月	227	3,070	800	5,123	8,000	64.00%
	2月	215	3,480	970	5,665	8,000	70.80%
	3月	69	3,370	870	5,643	8,000	70.50%
合計		3,168	37,240	9,470	62,677	96,000	65.30%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。

## おしめ乾燥処理実績

令和5年4月～令和6年3月

		焼却量(t)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
令和5年	4月	265	3,120	710	5,439	8,000	68.00%
	5月	143	3,140	720	5,462	8,000	68.30%
	6月	124	4,120	1,020	6,997	8,000	87.50%
	7月	0	0	0	0	8,000	0.00%
	8月	21	4,400	930	7,832	8,000	97.90%
	9月	35	2,620	540	4,695	8,000	58.70%
	10月	0	0	0	0	8,000	0.00%
	11月	75	4,300	840	7,809	8,000	97.60%
	12月	361	2,580	480	4,740	8,000	59.20%
令和6年	1月	302	3,610	720	6,523	8,000	81.50%
	2月	98	4,420	910	7,922	8,000	99.00%
	3月	228	3,410	710	6,094	8,000	76.20%
合計		1,652	35,720	7,580	63,512	96,000	66.20%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。

## おしめ乾燥処理実績

令和4年4月～令和5年3月

		焼却量(t)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
令和4年	4月	322	3,320	730	5,846	8,000	73.10%
	5月	360	3,370	800	5,800	8,000	72.50%
	6月	190	4,510	1,140	7,606	8,000	95.10%
	7月	496	3,740	1,030	6,116	8,000	76.50%
	8月	500	3,240	680	5,778	8,000	72.20%
	9月	470	3,990	950	6,861	8,000	85.80%
	10月	522	4,750	930	8,622	8,000	107.80%
	11月	592	3,450	760	6,071	8,000	75.90%
	12月	518	3,140	720	5,462	8,000	68.30%
令和5年	1月	452	3,150	750	5,417	8,000	67.70%
	2月	321	3,080	690	5,394	8,000	67.40%
	3月	205	3,840	970	6,478	8,000	81.00%
合計		4,948	43,580	10,150	75,452	96,000	78.60%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。